

# 平成29年度 第6回 県政モニターアンケート調査結果

廃棄物・リサイクル対策課 (099-286-2594)

○ テーマ 「食品ロス」の削減について

○ 調査目的 「食品ロス」は、「まだ食べられるのに捨てられてしまう食品」のことで、食品の製造・流通過程で発生する規格外品や売れ残り等のほか、家庭等での食べ残しや手つかずのまま捨てられる食品を含みます。日本で年間に発生する「食品ロス」は、日本国内の食用米の生産量にも匹敵し、世界の食料援助量の約2倍に相当します。

そして、「食品ロス」の約半分が、家庭から発生しているとされており、食品ロスを減らすためには、私たち一人ひとりのライフスタイルの見直しが必要だと言われています。

そこで、「食品ロス」の削減等について、今後の取組の参考とするため、当該調査をお願いしました。

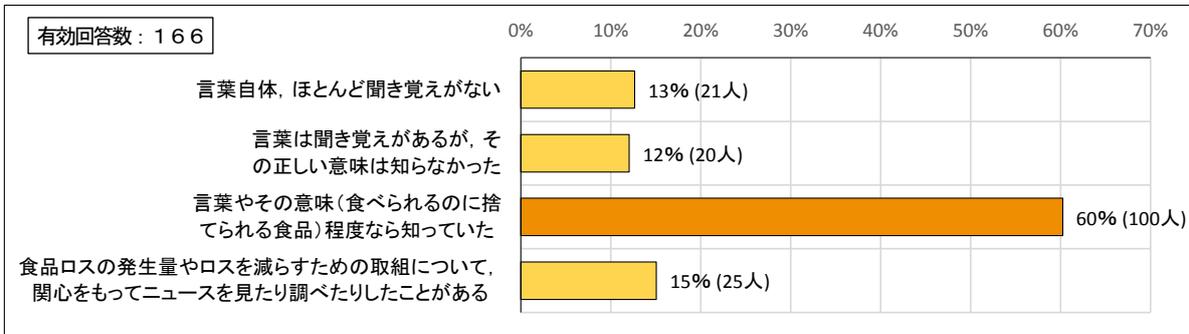
○ 調査期間 平成29年9月

○ 調査対象 200人

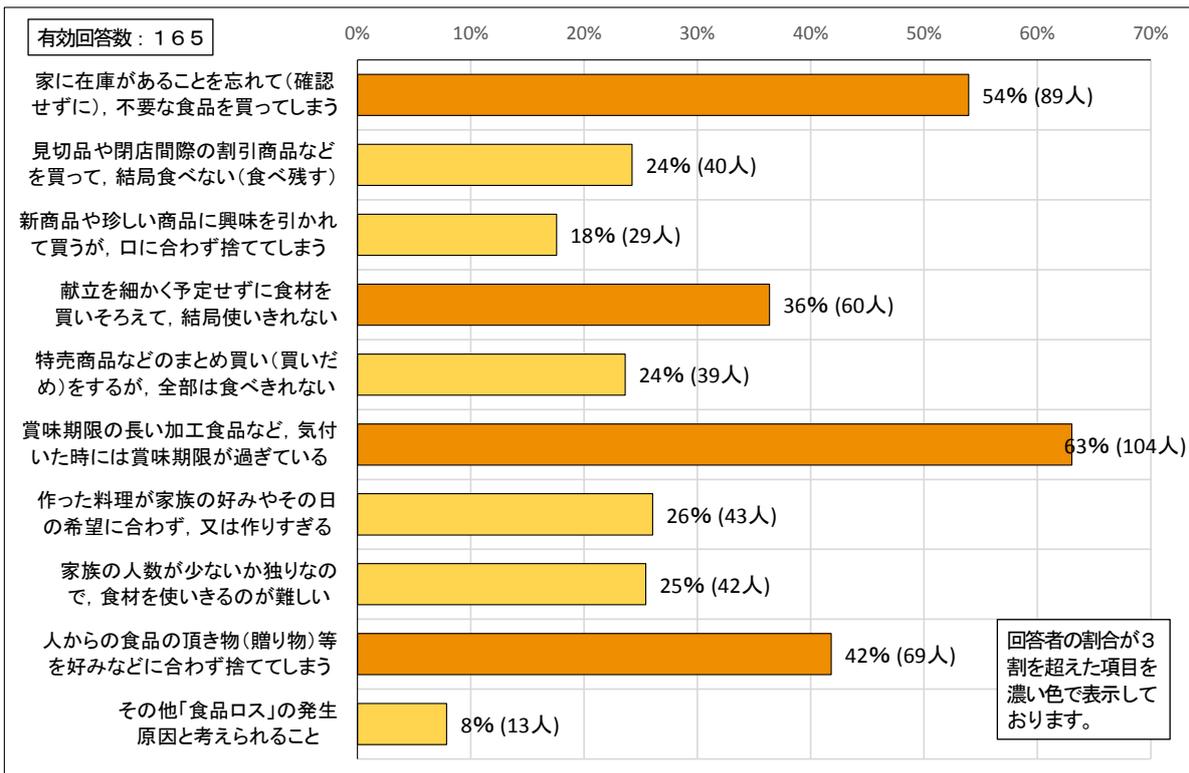
○ 回答者数 166人 (83%)



## 問1 「食品ロス」(フードロス)という言葉やその意味を知っていましたか。



## 問2 あなたのご家庭での「食品ロス」の発生原因等として、実際に「よくある」ことはどれですか。(主なものを5つまで選択可)



「その他「食品ロス」の発生原因と考えられること」の主な回答

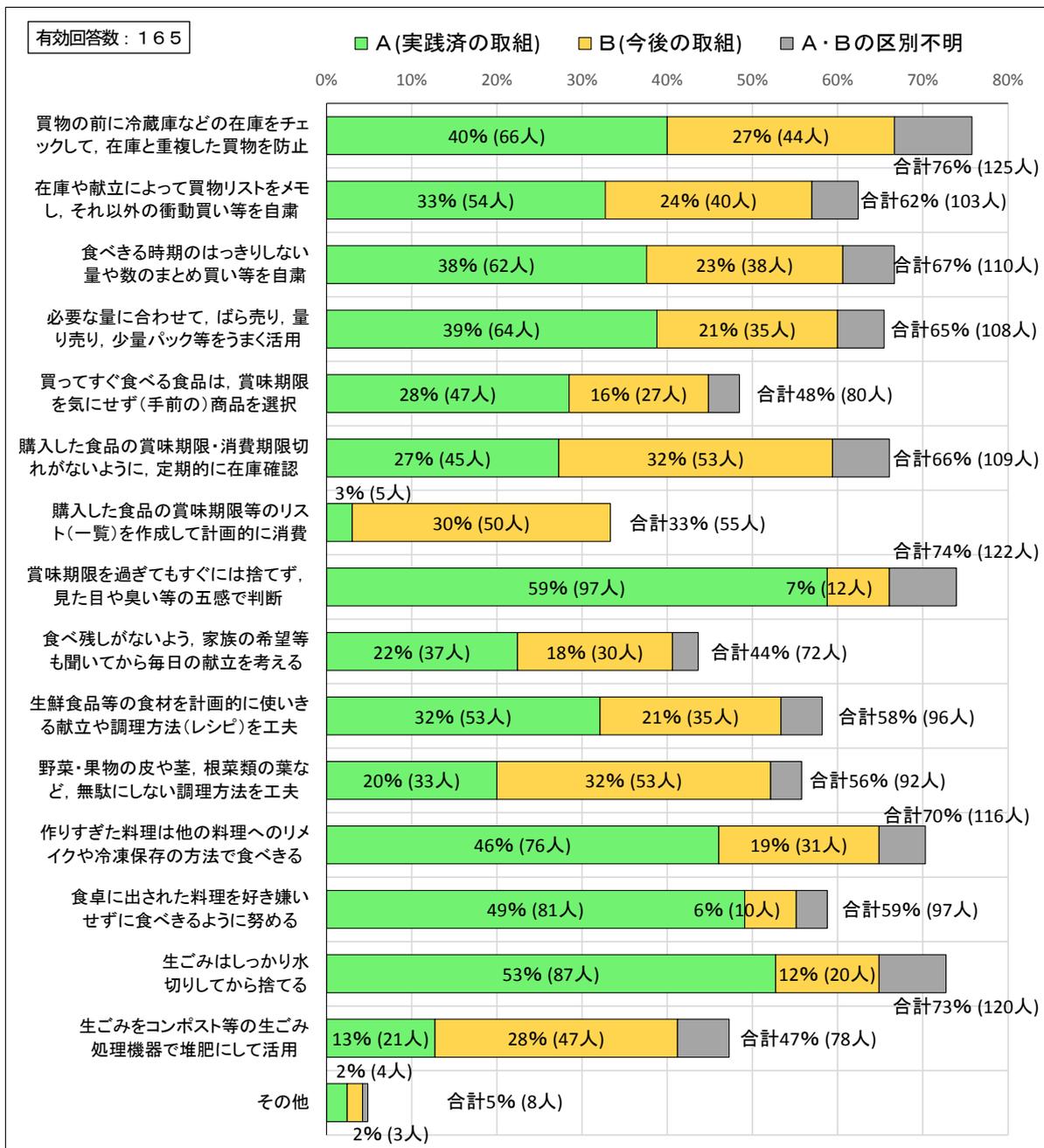
- ・家庭菜園で作った野菜を食べきれずに傷ませてしまう。
- ・地場野菜などを大量に頂いた時に、食べきれず腐らせてしまうことがある。（同じ趣旨の回答がほかに3件）
- ・同時期に同じ物が大量に送って来たりして、捨てることになってしまう。
- ・頂き物の珍しい調味料（使用頻度が低い調味料）を使い切れずに捨ててしまうことがある。（2件）
- ・夕食等の残りを保存し忘れ、駄目にする。
- ・冷蔵庫があるため、保存期間があるものと思いきりすぎる。
- ・家族の人数が減少したにもかかわらず、以前の大型冷蔵庫を使い、収納庫にして冷蔵庫の中身が増えてしまい、結果として、食品ロス等になってしまう。
- ・買ってすぐ食べるかもしれない食品についても、賞味期限が長い品物を選択してしまう。
- ・老齢のうえ店が遠く、週に1回くらいしか買物に行けず、結局まとめ買いをするためロスが出ることもある。
- ・ニラや大葉等、購入する際の一束の量が多すぎる。
- ・盆、正月等、人数を超えて作ることがある。
- ・停電等の際の冷凍庫、冷蔵庫内の食品。

※発生原因以外に、「食べ物を捨てるということはない。」、「特に食品ロスをしていない。」の回答もいただきました。

問3 あなたのご家庭での「食品ロス」削減等の取組について（複数選択可）

A 次の項目の中で、あなたが既に行っていることはありますか。

B Aで選んだ以外に、これから実行してみたいと思うものはありますか。



「その他」の主な回答

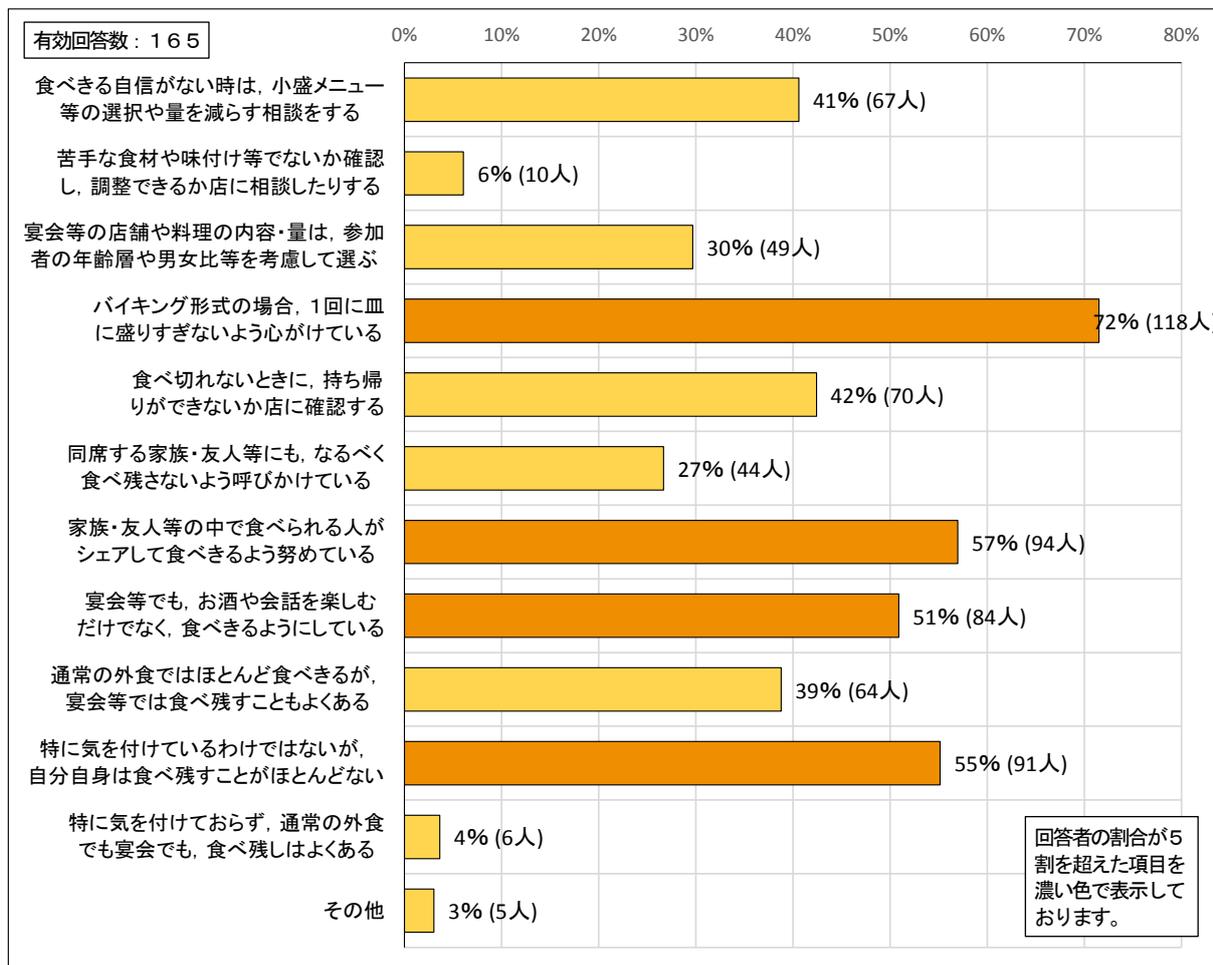
[Aの回答として]

- ・野菜などの頂き物を近所に分けたりする。
- ・(頂き物が多いときに) できる限り人にあげるようにしている。
- ・一人の場合は、作ると材料が残ってしまうため弁当を買って食べる。
- ・生ゴミを処理機で処理できない分は畑で堆肥化している。

[Bの回答として]

- ・夫婦世帯であり、冷蔵庫をコンパクトに替えたい。
- ・料理をたくさん作る癖があるので、なるべく少し作るようにする。
- ・地産地消を意識し、季節に合った作物を積極的にとる。

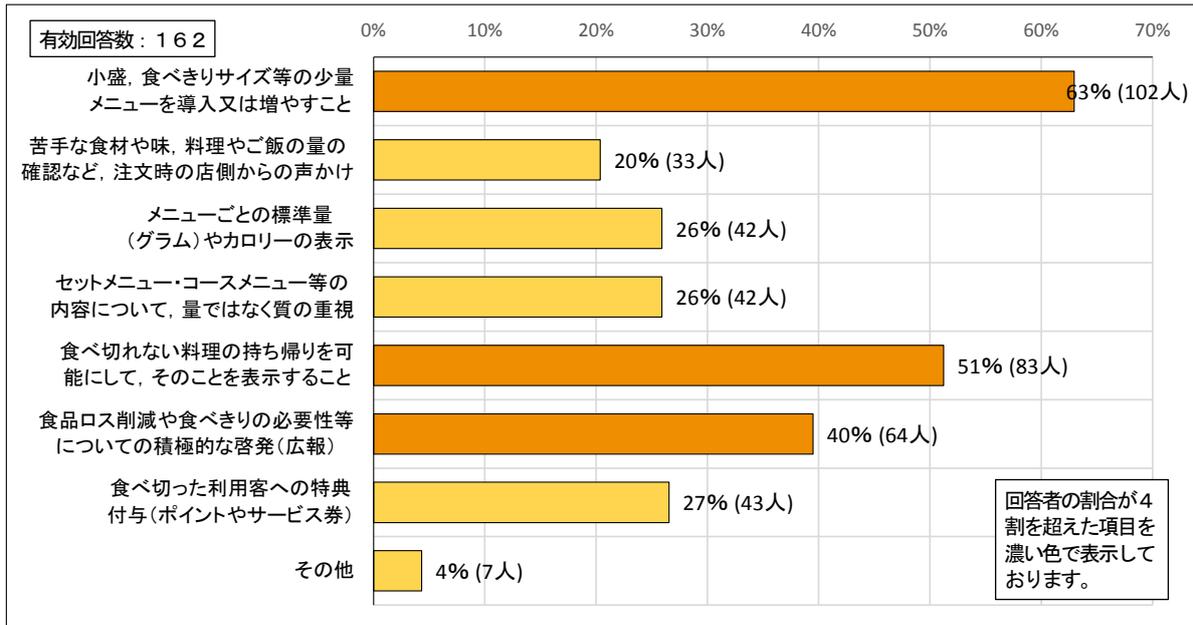
問4 飲食店等での外食の際の「食品ロス」削減の取組など、あなたに当てはまるものを選んでください。  
(複数選択可)



「その他」の主な回答

- ・家で作っての食事がほとんどで外食はしない。(同じ趣旨の回答がほかに1件)
- ・バイキング形式・ビュッフェ形式の店にあまり行かないようにしている。
- ・最初から食べ残しのないように心がけて注文するようにしている。
- ・30・10運動に心がけている。

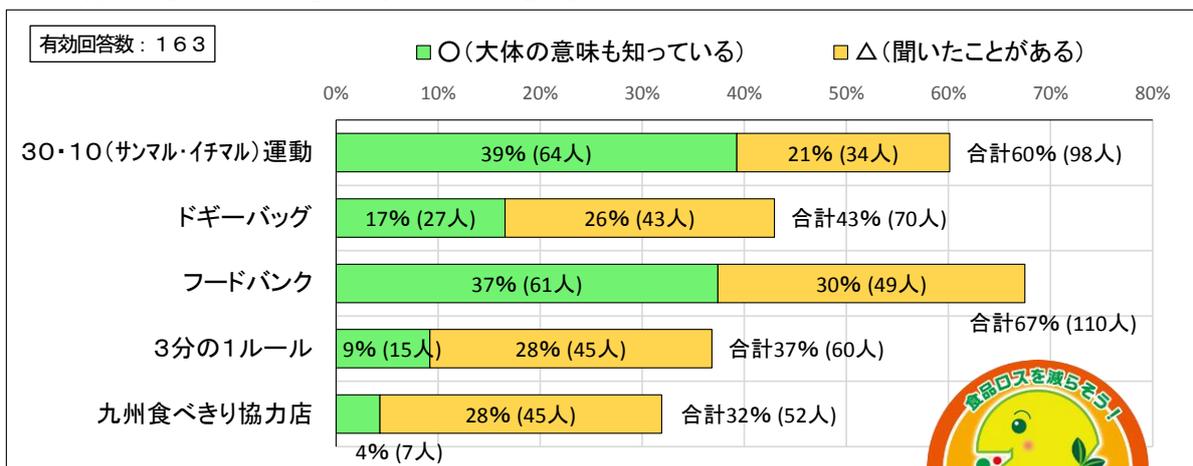
問5 飲食店の「食品ロス」削減の取組として効果的だと思うこと、又は取り組んでほしいことはありますか。  
(主なものを3つまで選択可)



「その他」の主な回答

- ・子育て支援パスポート協賛店のような「食品ロス削減推進店」のような表示でイメージアップ。
- ・“メニューの内容について質問などがありましたら遠慮なくお尋ねください。”などのような案内板が店内にあったら店の方に話しかけやすい。
- ・老人や小食の方向けの定食屋さんがあればいい。
- ・食べきれなかった時のことを考えてラップ等の準備がしてあるとありがたい。
- ・フードロス商品を低価格で提供するサービスの導入(“Reduce Go”など)。

問6 次の各用語(言葉)について、大体の意味を知っていたものには「○」、意味は知らないが聞いたことがあったものには「△」で回答してください。



- 30・10(サンマル・イチマル)運動** 宴会・会食等の乾杯後30分間とお開き前10分間に自席で食事を楽しむことで、宴会等での食べ残しを減らす運動
- ドギーバッグ** 外食で食べきれなかった料理(生ものを除く)を利用客の自己責任のもと持ち帰るための容器で、洗って再利用できるものが多い
- フードバンク** 食品メーカー等から品質に問題がない規格外品や賞味期限が近い食品等の寄付を受けて福祉施設等に無償提供する団体やその活動
- 3分の1ルール** 食品の製造日から賞味期限までの期間を3等分し、小売店への納品期限と店頭の販売期限を設ける日本の食品業界特有の商慣習
- 九州食べきり協力店** 食品ロスの削減等のための取組を行う飲食店やホテル、小売店等を登録し、利用客への啓発等を行う九州7県共同の取組

**30・10運動**  
さんまる いちまる

乾杯後**30分間**  
席を移動せずに料理を楽しむ!

お開き前**10分間**  
自席に戻り残った料理を食べきる!

## 問7 その他御意見等ございましたらお聞かせください。

(「食品ロス」に関する主な御意見等)

※ 他の設問の補足説明や意見として記載いただいた内容を含みます。(各問の「その他」の選択肢の内容を除く。)

- ・「食品ロス」について軽く考えていたことを痛感しました。
- ・「食品ロス」について知らないことが多いと感じました。
- ・「食品ロス」この言葉の恐ろしさを思わずにはいられません。世界の難民の方々のニュースを見聞きする時、なお一層、胸が痛みます。
- ・アンケートを読んだだけでも「食品ロス」をしないようにと思いました。
- ・3分の1ルール、九州食べきり協力店は知らない取組で勉強になった。
- ・「食品ロス」について知らないことばかりでした。興味を持ち、周囲に対しても周知しようと思います。
- ・「食品ロス」の話を聞き、食品全般に対する考え、特に食物の資源のことについて、考える機会をもらいました。食生活の中で身近な問題として実行できるものから始めたいと考えています。
- ・「食品ロス」の削減について自分ひとりではなく子どもたちにも話題にして意識したい。まずは家族から取り組みたいと感じました。
- ・「食品ロス」の削減はとても大切な問題だと思うので、これからも積極的に取り組んでいきたい。
- ・贅沢な世の中です。食品ロス削減や食べきりの必要性の啓発活動を積極的に取り組まなければと考えました。
- ・鹿児島市内の大型スーパー等では多くの消費者が触れることで傷んでいる(特に生鮮品)。売る側と買う側の両方が「食品ロス」に取り組む必要を感じる。消費者側も不用意に子どもが遊びのように食品を扱わない姿勢を家族で学ぶ必要がある(買い手のマナーの教育)。大人でも自分が買わない場合、野菜や果物をポイと放り投げる人もいる。
- ・保育所の調理をしていますが、ほんの少しですがたまに余ってきたら捨ててしまうしかないことに胸が痛みます。
- ・自分や家族のみの外食では、好きなものだけなので完全に食べる。しかし、宴会等では嫌いなものもたくさん出て全部食べられなく、残すことが多い。
- ・宴席では店側も必要以上の量を出す。もしくは出さざるを得ない場合が営業的に考えてあるのだと思います。
- ・国でも女性連を中心とした団体(あしたの日本を創る協会、生活学校等)も取り組んでおり、素晴らしい好企画である。先進国と言われる中で特に大切な食品ロス問題である。
- ・夫婦のみの世帯や台所仕事が好きでない家庭又は偏食が多い人は「食品ロス」の割合が高いのでは。
- ・最近では食べ残しが当たり前になっていると感じています。前もって食べられる量を把握することが大切。
- ・家庭では冷蔵庫があるので、すぐ使用しないものを買って込むことが多い。計画を立て1週間ごとにチェックして購入したい。終戦後の食料不足を時々思い出したい。
- ・難しいことだとは思いますが、コンビニ等で少しでも賞味期限が切れると廃棄されるのが心が痛い。
- ・コンビニで売られている商品は廃棄になるのが早いと聞いたことがある。まだまだ賞味期限はあるのにもったいないなと思います。
- ・「食品ロス」は本当に大きな問題であると思う。夜にスーパーやコンビニなどで大きなごみ袋の中に割引食品の売れ残りや期限切れの食品をばんばん捨てていく光景を幾度と見たが本当に胸が痛む。その捨てられてしまう命はどこから来ていたのか。どれだけのエネルギーと資源が使われてきたのか。今このとき何万人の人が餓死をしているのか。本気で考えないといけないと思う。
- ・30・10運動は年末年始の宴会の席で増えるこれからの時期に知って良かった。自分が出席する会で推進していこうと思いました。
- ・外食の際、食べ残しているテーブルを見ますが自分の食べる量を把握して注文すれば良いのにといつも思っていました。
- ・宴席時の食べ残しがとてもひどいと感じる。30・10運動をもっと大々的にキャンペーンすべき。

(問7 つづき)

- ・一番身近に感じる「食品ロス」の場面は、宴席の料理だと思う。会食が始める前に「30・10」と呼びかける会はまだ少ない。年末年始とこの先宴席も増えるので、各団体・企業と行政が連携し、啓発に努めるべきだと感じます。
- ・子どものころ（昭和30年代）、父の宴会がある日の夜は折り詰めを食べ残し（残してくれた）がありました。
- ・自己責任のもとと言っても、持ち帰りは衛生上あまり賛成はできない。
- ・食中毒のリスクを管理するのは、企業でも行政でもなく、個人であるべき。そういった教育が重要だと思う。
- ・「ドギーバッグ」は聞いたことがないです。テレビやポスターで見たら「あ！これか！」となると思います。
- ・宴会では、いつも大量に出し過ぎ。持ち帰り可能な食べ物を多く出してほしい。
- ・フードバンクの更なる啓蒙を。
- ・フードバンクがごしまのお茶の寄付について、もっとテレビやラジオ、新聞で広報したら、お返しなどで家庭で余っているお茶を提供する人が増えると思う。いつもイベントが終了してから新聞記事を見るので。
- ・公民館等が呼びかけてフードバンクの取り組みをしており、時々持ち込みをしている。
- ・子ども食堂などの支援につながればいいですね。食べることが社会参加や生きる力になると思います。
- ・「食品ロス」は飼料の原材料等に活用できないか。子ども食の貧乏が言われているが、何か活用方法はないものか（食品衛生法等々あるも）。
- ・地域で食品の有効活用について子ども食堂が作れないか思案中です。
- ・一人一人が意識して日常生活を送ること、ポスターなどを活用して市民に周知する。
- ・問6の用語（言葉）を知らなかったので広報が必要であると感じた。
- ・議会でも「食品ロス」の問題が取り上げられているので、もっと一般の方にも知ってもらえるように広報等でお知らせ願います。
- ・知らない用語が多かった。いろいろな場所で広報してほしいと思った。
- ・野菜や果物の皮や茎、根菜類の葉などを無駄にしない調理方法や工夫の仕方を情報提供してほしい。
- ・「食品ロス」は家庭や学校の教育の中で環境問題の立場からも考えていけたらいいと思います。
- ・「食品ロス」が一番贅沢である。子どもたちに「食品ロス」について教育する必要がある。
- ・学校教育・社会教育・地域活動等を通じて、その必要性について、啓発活動を実施してはどうか。
- ・映画などの利用した啓発は若い世代にも有効だと思うし、学校教育でも啓発すべきだと思う。
- ・老若男女食べる量が違います。外食等は、特にどのようなロスを減らすか総合的な検討が必要だと思います。
- ・食堂、ホーム等で出されたものの残ったものの統計を取りながらその対策について計画すべきだと思います。
- ・「食品ロス」については宴会場などでは外からの見た目（節約しているとか）などを気にして積極的に行動できないが、店側や啓発などで変わると思う。
- ・食費を無駄にするような飲食店のメニューには課税しても良いのでは（大食いメニューなど）。
- ・外国では油やお菓子ほか様々なものが普通に量り売りで購入できる場所がたくさんあるが、日本には少なすぎる。そういった場をたくさん導入して頂きたいです。
- ・冷蔵庫やストック棚を一度空にするようにしています。使い切るようメニューを考えて特に冷蔵庫が空になるとやった感が出るし、工夫することが楽しい（消毒掃除もしやすい）。
- ・ゴミの日に冷蔵庫内の掃除をし、賞味・消費期限等の確認を行うと同時に、買い置きをあまりしないようにしている。
- ・最近白飯（定食等）の量をあらかじめ言うと、減らしてくれたりします。こちらから言わなくては店側からは言いにくいでしょう。

**【参考】 「食品ロス」の知識が日頃の取組（消費行動）に与える影響の可能性について  
（問1の回答内容と問3・問4で選択した取組済の項目数との相関関係）**

○ 問1で1又は2を選択した方（「食品ロス」について聞き覚えもない方又は意味を知らない方）と3又は4を選択した方（意味を知っている方又は関心が高い方）のそれぞれについて、問3（ご家庭での取組）及び問4（外食時の取組）において、5つ以上の項目について取組済と回答した方の割合を比較してみました。

その結果、次のとおり、問1で3又は4を選択したの方が、日頃積極的に取り組んでいる傾向にあり、「食品ロス」についての知識が、消費行動に影響を及ぼす可能性があると考えられます。

[問3（ご家庭での取組）で5つ以上の項目について取り組んでいると回答（Aを記入）した方の割合]



[問4（外食時の取組）で5つ以上の項目について取り組んでいると回答（1～8又は12を選択）した方の割合]

